

世界漫遊特集 vo.10 2016年7月号

アメリカ合衆国「ROUTE 66」文笠 達裕

皆様は、アメリカ合衆国にあるバイカー達の聖地と言われている、とある有名な国道をご存知だろうか？

旅行の記事なのに、道路？と不思議に思う方もいらっしゃると思うが、これはただの道ではなく、「Route 66」という、アメリカ人、さらにはヨーロッパのドイツでも、今年7月にイベントが開催される程人気な国道である。完成して今年で90周年。全世界でファンを増やしている、こちらの道路はどのようなものなのか。



それでは、Route 66について簡単に紹介させていただきます。

オクラホマ州のとある実業家サイラス・アベリーが、土壌の肥えたカリフォルニア州〜イリノイ州まで、道を伸ばそうと、工事に着手したのが始まりだ。当時ロサンゼルス〜シカゴ間は全くの未開発地域だったが、1926年11月11日に、イリノイ州・シカゴと、カリフォルニア州・ロサンゼルスを結ぶ、全長2,450マイル(3,755km)の大陸横断国道が完成した。日本で言えば、鹿児島〜北海道までの距離よりも長い、1本の国道とイメージして頂ければ分かりやすい。シカゴの Chicago Jackson Ave.には「BEGIN(始まり)」と表記された看板、ロサンゼルス・サンタモニカには「End of the Trail(道の終わり)」と表記された、Route 66のスタート地点とゴールがある。



簡単な紹介はしたが、何故Route 66がそこまで有名なのか？そして何故愛されているのか紹介しよう。

諸説がいくつかあるのだが、Route 66は現地では、「Mother Road(母なる道)」と呼ばれている。というのも、この道は、アメリカ大陸の真ん中を走る道であり、現在アメリカにある道はこのRoute 66を元に作られた、という話までもあるくらいだ。アメリカの道路と言えば、長く、その傍らにガソリンスタンドや、軽く食事が出来るようなお店が並んでいる、というイメージを持っている方も多いのではないだろうか。その様なイメージを作る基になったのもこのRoute 66だと言われている。

Route 66は有名な映画、又はドラマにも登場している。例えば、車達が喋り、仲間と共に大冒険をする映画で有名な『Cars(カーズ)』や、『怒りの葡萄』、『バグダッド・カフェ』、『Route 66』と言う様に、撮影場所やアニメの舞台として使用される事が多い。現在もその撮影場所が残っている所がいくつかある。つまりRoute 66はアメリカ国民の中でいつも親しみ易く身近な存在であった。

さて、ある程度Route 66の説明がすんだ所で、ここで一つ弊社の旅行の宣伝をさせていただきます。今年2016年11月11日に、アメリカ・カリフォルニア州・ロサンゼルスにて、Route 66の90周年記念フェスティバルが開かれる。その記念フェスティバルに合わせた旅行を現在作成中だ。元々大自然が多く存在するアメリカ合衆国。雄大な大地を走り、Route 66の歴史を肌で感じてみるのはいかがだろうか。